

ま え が き

今日の環境問題には、身近な地域におけるものから地球規模のものまで、様々な問題が含まれています。しかし、その大部分は、私たちの経済活動や日常生活から生じる環境への負荷が集積し、顕在化している問題です。

現代の自動車社会において、自動車からの排気ガスが一因とされている地球温暖化や大気汚染の問題は、まさに今日における環境問題の典型です。今、私たちには、自らの経済活動や日常生活を支えるための自動車を、いかに環境にやさしく、かつ持続可能なものに変えていくか、環境負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築に向けて、人と自動車との関係はどうあるべきかが問われています。

このような中で、環境性能に優れた自動車の普及は、大変重要な施策のひとつとなっています。政府においては、「低炭素社会づくり行動計画（平成20年7月閣議決定）」「日本再興戦略2016（平成28年6月閣議決定）」「エネルギー基本計画（平成30年7月閣議決定）」等の決定文書において、環境性能に優れた自動車の普及目標を掲げているほか、国等において、環境性能に優れた自動車に対する補助金や税制特例措置等をはじめ、環境性能に優れた自動車の導入を率先して進めるため、グリーン購入法において環境性能に優れた自動車を率先導入の対象とするなど、その普及にむけて様々な施策を講じております。

今後、環境性能に優れた自動車をさらに普及させるためには、これらに関連したより多くの情報を広く周知し、共有することが重要であると考え、環境省、経済産業省及び国土交通省の関係三省により、前述の政府決定文書や補助金、税制特例措置、グリーン購入法の対象とされた自動車における関連情報をとりまとめた「次世代モビリティガイドブック2019-2020」を作成いたしました。本書が次世代自動車を導入する公共機関、民間事業者及び一般ユーザーの方々に活用され、一層の次世代自動車の普及促進が図られることになれば幸いです。

最後になりましたが、本書の作成に際し、多大なるご協力を賜りました自動車メーカーをはじめとする関係各位に厚くお礼申し上げます。

